

英語科学習指導案

令和3年11月24日(水) 第5校時 第5学年1組(5年1組教室)

【単元】すごいぞ日本！プレゼンテーション

考察	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
育成を目指す資質能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本文化について紹介をする際に用いる英語の音声や文字, 英語表現, 文構造, 言語の働きについての知識 ・ 日本文化について紹介をしたり, 音声で慣れ親しんだ英語表現を書き写したりする基礎的な技能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本文化について紹介するために, 英語表現の選択・組合せをし, 英語を用いて分かりやすく自らの考えを伝える力 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語を用いて相手に伝わるように工夫しながら, 日本文化について紹介しようとする態度
児童の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでに"I like ~."を用いて自分の好みを伝えたり, "I can ~."を用いて, 自分にできることを紹介したりできるようになってきている。 ・ 日本の伝統的な行事や遊びを伝える際に用いる"You can enjoy ~ing ~."は動名詞を用いた英語表現であり, 児童にとって初めて学習する表現であるため, 文を組み立てる際に困難を感じる子どもがいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ "I can ~." "I want to be ~."等の英語表現の選択・組合せをし, 自己紹介や将来の夢を英語で表現できるようになってきている。 ・ 日本文化について紹介することは, "We can ~." "We can enjoy ~ing ~."等, 助動詞や助動詞と動名詞の組合せをする必要があるため, 英語表現の選択・組合せをすることに困難を感じる子どもがいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語を用いて相手に伝わるように工夫しながら, 自分のできることやしたいことの発表をしようとしてきている。 ・ 先生クイズ大会の学習において, クイズの内容を工夫するために互いに質問・返答をし合う機会を設定したが, 自分のクイズを作ることにのみ注力してしまい, 相手のクイズ内容について質問をできた子どもが少なかった。
価値	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来日前の群馬大学の留学生に日本文化について紹介をする課題に取り組むことは, 日本文化のよさや価値を再認識し, 日本文化を発信しようとする姿勢をもつことができるとともに, 日本文化を詳しく伝えるという目標への情熱をもって取り組むことができる。 ・ 日本文化について紹介をする活動を繰り返し設定することは, "We have ~ in Japan." "You can enjoy ~ing ~."等の英語表現を英語の音声で発音できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達と相手を替えて繰り返し日本文化の紹介をし合うことは, "We have ~ in Japan." "We can ~."等の英語表現の選択・組合せをすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来日前の群馬大学の留学生への紹介に向けて, 子どもが互いの日本文化の紹介について質問・返答をし合う機会を設定することは, 互いの日本文化の紹介をより詳しくしようとする思いやりを高めることにつながり, 英語表現や表現内容を改善できる。
見方・考え方	<p>英語やその背景にある文化を捉え, 来日前の群馬大学の留学生にリモートで日本文化の紹介をするというコミュニケーションを図る目的や場面, 状況及び相手の反応に応じて, 英語表現や表現内容, 伝え方の選択・組合せをすること。</p>		
今後の学習	<p>5年「あこがれの人物をA L Tに紹介しよう」において, 助動詞canを用いた英語表現を用いて, あこがれの人物を伝え合う学習へと発展していく。</p>		

指導と評価の計画

目標	おおすすめの日本文化を来日前の群馬大学の留学生に紹介するために、他者に伝わるように工夫しながら、英語を用いて日本の伝統的な食べ物や行事、遊びを表現できる。			
評価規準	(①知・技) 日本の伝統的な食べ物や行事、遊びの紹介をする英語表現を理解している。 日本文化を表す英語表現を英語の音声で発音したり英語の語順で書き写したりしている。 (②思・判・表) 英語表現の選択・組合せをし、おおすすめの日本文化の紹介をしたり、紹介文を書き写したりしている。 (③主体的態度) 来日前の群馬大学の留学生に伝わるように工夫しながら、英語を用いておおすすめの日本文化の紹介をしようとしている。			
言語材料	We have (<i>sushi/tempura/dango/shabu-shabu, New Year's day/setsubun/the star festival /Children's day/the doll's festival, kendama/shogi</i>) in Japan. It's (delicious/crispy/chewy/juicy/healthy/sticky/hot/soft) We can (celebrate/make/display/see)~. We can enjoy (folding/spinning/flying/juggling/playing) ~.			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点 評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
つかむ 追究する	1	○A L T の出身国の文化の紹介をするプレゼンテーションを見聞きし、試しの活動に取り組み、個人の課題と学級全体の単元の課題 (Unit Goal) をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> Unit Goal 来日前の群馬大学の留学生が日本での生活を楽しめるように、日本文化のよさを紹介しよう。 </div>	○自分が伝えられないことに気付けるように、日本文化の紹介をする試しの活動をし、本単元でできるようになりたいことを話し合う機会を設定する。	◇日本文化の紹介をする際にできるようになりたいことや伝えたいことについて、発言したり記述したりしている。 <発言・Tryシート③>
	1	○日本の伝統的な食べ物を表す英語表現を用いたすごろくゲームをし、"We have~." "It's~."を用いて日本の伝統的な食べ物の紹介をし合う。	○日本の伝統的な食べ物を表す英語表現を英語の音声で発音できるように、マスに書かれている日本の伝統的な食べ物を表す英語表現を発音するルールを設定する。	◇日本の伝統的な食べ物を表す英語表現を英語の音声で発音している。 <行動①>
	1	○日本の伝統的な行事を表す英語表現を用いたカルタをし、"We have~in Japan." "We can~."を用いて日本の伝統的な行事の紹介をし合う。	○日本の伝統的な行事を表す英語表現を英語の音声で発音できるように、カルタをとった後にペアでカードに書かれた日本文化の紹介をし合う機会を設定する。	◇日本の伝統的な行事を表す英語表現を英語の音声で発音している。 <行動①>
	1	○日本の伝統的な遊びを表す英語表現を用いたマッチングゲームをし、"We have~in Japan." "We can enjoy~ing~."を用いて日本の伝統的な遊びの紹介をし合う。	○日本の伝統的な遊びについて英語表現の選択・組合せをして紹介ができるように、おおすすめの伝統的な遊びについてペアで相手を替えて紹介をし合う機会を設定する。	◇英語表現の選択・組合せをし、日本の伝統的な遊びの紹介をしている。 <学習プリント②>
	1	○日本文化の紹介をする際の英語表現と表現内容について考える。	○日本の食べ物、行事、遊びの英語表現の確認ができるように、イラストと英語表現が示されたピクチャーカードを用意する。	◇おおすすめの日本文化について調べ、紹介をしたいことを記述したり、画像を選択したりしている。 <構想シート③>
1	○日本の伝統的な食べ物や行事、遊びについての紹介をする際に用いる英語表現や表現内容を改善する。(本時)	○日本文化の紹介内容を詳しくできるように、ペアで紹介内容について質問・返答をし合う機会を設定する。	◇友達からの反応を基に、日本文化の紹介をする英語表現や表現内容を改善している。 <行動②>	
1	○友達と日本文化の紹介をし合い、伝え方を改善する。	○より分かりやすく日本の文化の紹介をできるように、「アイコンタクト」「声の大きさ」等の伝え方のポイントを視点にし、繰り返し友達に紹介をする機会を設定する。	◇日本文化についての英語表現の選択・組合せをして友達に伝え、友達からの反応を基に伝え方を改善している。 <行動③>	
まとめる	1	○来日前の群馬大学の留学生に向けてZ o o mを用いて「すごいぞ!日本プレゼンテーション」をする。	○英語を用いて日本文化のプレゼンテーションができた楽しさを実感できるように、来日前の群馬大学の留学生に日本文化を伝えたり、質問をしたりする時間を設定する。	◇来日前の群馬大学の留学生に英語を用いて日本文化についてのプレゼンテーションができた楽しさを発言したり記述したりしている。 <発言・Tryシート③>
	1	○日本文化の紹介をする英語表現を書き写し、日本文化紹介ポスターをグループで作成する。	○英語表現を文字の高さに気を付けて書き写せるように、四線入りの学習プリントと英語表現の見本を用意する。	◇留学生に紹介をした日本文化についての英語表現を書き写している。 <学習プリント②>

本時の学習（6／9時間目）

ねらい 相手を替えて繰り返し日本文化の紹介や反応をし合うことを通して、日本文化の紹介をする際の英語表現や表現内容を改善することができる。
 評価項目 **友達からの反応を基に、日本文化の紹介をする英語表現や表現内容を改善している。** <行動②>

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の日本文化の紹介は来日前の群馬大学の留学生にとって分かりやすい紹介になっているかな。留学生に日本文化のよさが伝わる紹介をできるようにしたいな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・来日前の群馬大学の留学生に日本文化のよさが伝わるように、紹介の内容をより詳しくしたいな。 (目的意識)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○本時まで学習した日本の伝統的な食べ物、行事、遊びの英語表現の発音と文化の内容を確認できるように、文化の英語表現と写真を提示し、ALTが英語表現を問いかける。 ○本時において、他者からの反応を基に英語表現や表現内容を改善するという見通しをもてるように、JTEが日本文化についてALTに紹介をし、ALTが紹介の内容について質問をするというモデルを演示し、やりとりの内容について問いかける。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p>めあて：留学生に日本文化のよさが伝わるように、紹介する内容を増やそう。</p> </div>	
<p>2 友達に日本文化の紹介や反応をし合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> "We have kendama."という英語を使って、剣玉の紹介をしよう。 "Can you play kendama?"と質問されたよ。剣玉の紹介をする時に、自分が剣玉をすることができるということも伝えてみよう。 友達は紹介をしているカルタのことが好きだと伝えているぞ。剣玉が好きということも伝えてみよう。 「剣玉ができる」、「剣玉が好き」という英語を増やして発表することができたぞ。構想シートに書き足してみよう。 寿司の発表をしていた友達に、おすすめの寿司について聞きたいな。英語でどのように尋ねればよいのだろう。 友達から質問されたことを生かして紹介の内容を増やしたら、詳しく剣玉の紹介をできるようになってきたぞ。 自分も友達に質問をして、友達の紹介がより詳しくなるようにしたいな。 自分が友達に「何カルタが好きですか」と質問したら、友達のカルタの紹介が詳しくなったぞ。よかったな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・"I can play kendama." "I like kendama."を付け足して、詳しく剣玉の紹介をできるようになったぞ。 (目的を達成した意識)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○"We have～." "We can enjoy～ing～."等、子どもが共通して用いる英語表現を確認できるように、ALTの後に続いて発音するよう促す。 ○日本文化の発表に対して質問ができるように、これまでに使用してきた質問の際に用いる英語表現を掲示し、参考にするよう促す。 ○日本文化についての英語表現や表現内容を改善できるように、相手を替えて繰り返し紹介や質問をし合うよう促す。 ○英語表現や表現内容が改善できたことを実感できるように、質問を基に改善できた内容を発表構想シートに記述するよう促す。 ○日本語で質問した内容について英語表現を確認できるように、知りたい英語表現を問いかける。 ○日本文化についての紹介に自信をもてるように、英語表現や表現内容を改善している子どもを称賛する。 ○質問をすることで互いの紹介がより詳しくなることを実感できるように、質問を基に増えた英語表現や表現内容を問いかける。 ○相手の紹介を詳しく知ろうと質問をすることが相手の英語表現や表現内容の改善につながることに気付けるように、質問をすることのよさについて問いかける。
<p>3 本時の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> "I like～."や"I can～."を使って詳しく伝えられるようになったぞ。 内容は増えて詳しく紹介をできるようになったけれど、スムーズに紹介できないな。もっと発表の練習をしたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本文化の紹介をする際の英語表現や表現内容を改善できたことを実感できるように、自分のめあての達成度を振り返り、Tryシートに記述するよう促す。 ○次時の学習への意欲を高められるように、Tryシートの「もっと自分に必要なこと」について学級全体で共有し、次時の課題について問いかける。